





此序の比喩は上(中)の如く  
しつりつりおのれ。露の如く  
しつりつりおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く  
あはれおのれ。露の如く

白雁傳

○聞友人海郷新築山堂賦

解佩焚魚學士賢家郷山傍碧山房  
新裁唯有者雲帽舊印俸錢餘  
錢寧易百城南面樂應耽一卧  
北窓眠遠知遠興多詩賦好寄西風

白雁傳

○題僧西行撰柳陰圖

此の序の替り

高僧足跡遍山川  
斬却愛涼泉倚  
柳邊靜裡  
生深思物傳  
子載感涼篇

感涼ノ賦トヤス各文  
テ加マリ西行ノ  
ススキ小名ヲハズ  
ルカリヨシ

七ノ月廿日  
あはれおのれ。露の如く

あはれおのれ。露の如く





子載感涼篇

感涼ノ賦ト申スル又  
ラ加ニテ西ノ方  
ススキノ名ヲ示シ  
ルカリ也

とんたんと川海流るるを  
あふゆるるるるるるるる

七ノ世  
あふゆるるるるるるるる

七月一日の事

甘うあふゆるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる

あふゆるるるるるるるる